

商 況

◎ピツツバーグ (十月中旬)

銑鐵 生産漸々増加し未だ多少骸炭不足に困却するもの、
如し製品は一切政府の分配を受くるの外なし。

相場 ベーシック

三三弗

ベセマー

三五、二〇弗

鑄物用三號

三三、五〇弗

ビレット及板鋼片 近頃各工場より軌條材料の需要増加の
爲め一般にビレット、板鋼片の供給減退し假令政府の保
護を受くるも尙得易からず。

相場 4' x 4' ベセマー軟鋼及平爐鋼ビレット 四七、五

〇弗

鋼板 政府は一般造船材料の供給者又は造船の爲めに要す
る鋼板に對しては其材料の配給を至便ならしむる方針に
在る爲め當業者は大に満足の意を表し居れり。

相場 截斷鋼板

三、二五仙

鐵合金物 フェロ、マンガニーズの需要稍々活潑なり。

相場 フェロ、マンガニーズ 七〇% 二五〇弗

スビーゲル、アイゼン 一六% 七五弗

フェロ、シリコン 五〇% 一六〇弗

建築材 同品は主として艦船協會の需要を見る外特記する

ものなし。

相場 溝形、工形、一五吋もの工場渡 三仙

薄鋼板 原料板鋼片の供給著しく減退したる爲め各工場共
生産力五〇%又は夫れ以下の作業に過ぎず。

相場 ブリユー、アンニール番物 四、四五仙(一封度)

ボツキス、アンニール番物 四、八五仙(一封度)

鍼力板 是亦原料尠なく工場は辛うして七〇%工程を持續
しつつあり。

相場 黒 板 三〇番 五、〇五仙(一封度)

棒鐵、棒鋼、從來より更に多少、原料の制限甚しき爲め一
般商人の手に歸するもの亦減せり

相場 軟鋼棒(ビレット製) 二、九〇仙

同 (舊軌條製) 三仙

精製棒鐵 三、五〇仙

◎紐育市況

銅 目下の公定相場二六仙なるも十一月一日以後は勞働賃
金激増の爲め更に相場昇騰を豫期するもの、如し。

錫 目下輸入許可の下付せられたるもの獨りユーナイテツ
トステーツ、スチール、コーポレーションのみにして他
は未だ許可を見ず、需要なく市況閑散なり相場紐育八二
仙唱へ品なし。

輸入本年一月より十月一日迄 四七、四二八噸

昨年一月より十月一日迄

四四、八三七噸

にして本年は三、六五八噸の増加を示せり。

鉛 目下の公定相場紐育八、〇五仙、セントルイ七、七五仙にして先行昇騰を豫期せすと、市況別段變りなし。

亜鉛 市況引緩み相場下押氣味、紐育九、二〇仙、セントルイ八、八五仙を引合へり。

安質母尼 紐育税込一四仙を唱へ市況平靜。

アルミニウム、バージン一號三三仙(五〇噸)、一五噸引合一封度三三、二〇仙唱へ。

◎英國市況 (倫敦九月下旬)

銅 市況變りなく外報として智利國米人所有銅鑛山より六月中八千噸の產出を見たる由傳へらる米國も一般に取引閑散の由。

相場 現物出來値一二二、 $\frac{1}{2}$ 磅

錫 先行何等かの變調を期待せるか如きも相場は依然として三四三磅一〇志を動かす。

在荷(倫敦)四五九噸(八月十六日)

(リバプール)九六七噸(八月十六日)

鐵及鋼

○半成品、ビレット及板鋼片共に公定相場は工場積込渡

一〇磅七志六片唱へにて變りなし依然として政府筋注文多し。

○既成品、同品も亦政府御用品多く一般市人への供給極めて少し軟鋼輸出向一六磅一〇志唱へ、砲彈材一六磅五志を唱ふるも品なし。

鋳力板 市況平靜、相場稍手堅く28×20"一二枚(二一六封度)三〇志唱へ其他の寸法相場立たす。

鉛 政府調節のため市況引立たす外國物二八磅一二志より二九磅一〇志の間を呼へり。

亜鉛 需要活潑なるも多くは政府の手より軍需品工場の直接需要品へ直行するもの多し。

出來値五四磅見當

亞鉛引鐵板 引合抄々敷からす相場二四番波板東物二八磅一〇志を唱ふ。

安質母尼 市況變化なし相場最高八五磅唱へ日本、支那物七七磅より七八磅最底なるへし。

◎内地金物市況 (十一月)

鐵板 長尺物定尺物は割合底堅きも薄板は相變らず安く $\frac{1}{2}$ 二十圓ゲージ十一番物二十二、三圓唱へ。

棒鐵 市況更に變化なく、依然弱腰にて買手なし市中賣前十二圓見當、角棒は品物により多少異なるも相場十五、六圓、平鋼十七圓位。

銑鐵 市況引續き安値にて賣急ぐ者多きも買手皆無の姿なり現物相場四百圓唱へ。

⑧ 入席札金額

⑧ 入席札金額

[illegible]

釘 ○三五組合せ二十九圓乃至三十圓前旬に比し一、二圓方下落を示せり、何れも賣手あるのみにて買手なく荷動き更になし。

鐵力板 百封度もの四十圓位、百七十封度もの八十二、三圓針金 市中賣前八番線十六圓乃至十六圓五十錢。

鉛 濠洲入電保合にて一月積より六月積迄六ヶ月間繼續契約に對しては四磅安の五十磅を指値せる由市中に喧傳せらるるも目下買氣杜絶の際終に成約を見るに至らざりしか如し然るに市中相場は大阪砲兵工廠入札か二十三圓八十二錢にて落札したるを最底とし爾來幾分跳ね返したるの觀ありしも尙大阪方面二十五圓五十錢賣を唱ふるものあり市中相場區々にして一定せざるも概して二十六圓中值弱保合と見るべく而も東京方面は安値賣進むものなく一齊に年末棹尾の反動高を期待せり。

亞鉛 内地亞鉛三十四圓五十錢揚を上下せるも荷動なく一方米國亞鉛は鉛同様輸出禁止を噂せらるるに拘らす相場は冲着二百五十弗唱へなるを以て徒らに市中先氣配を鈍らし需要家は擧げて買控の態度を取れるを以て先物引合皆無なり。

錫 新嘉坡物相場百六十一圓入電釘附けの結果瓜哇香港物もデリ安を示し今後其の輸出商内に付兎角の故障傳へらるるにも拘らす市中相場二百十圓唱にて尙買人なく大阪方面早くも二百割の聲を聞き尙幾分の下押を覺悟せり。

◎九州八幡製鐵所鐵材入札 本年五月より毎月一回宛一萬噸内外の鐵材を公入札拂下をなし來り本月(十一月)第七回目三千七百噸、入札日十四日に施行せられたり、其結果は次號に記載すへきも鋼板最高七百圓最低四百八十圓、棒鐵二百三十圓乃至三百六十圓、形物二百四十圓乃至三百十五圓を示し此夏の最高値段より半値以上の下落を現はし、而も全然入札者なかりしもの多量なりき、別紙の入札者は十月施行の結果表なり。

◎鐵材市況低落

休戰の一聲に人氣全く沮喪し氣配益々引緩み買手筋は全く手を引き賣手筋も呆然として成行傍觀の姿なるか併し大手各手持筋は案外落付の態度にて崩落相場は永續す可きものにあらすとして只管米國の入電を待ち居れる模様なり而して休戰調印の二三日前に於ける米國入電は高調子を報し居れり之に依れば同國にては講和來も格別軟材料視せざるか如くも思はるれと何分其後は未だ入電皆無なるより成行全く不明にて従つて一般に賣控への狀況なり最近の市場標準相場は丸鐵並時物十一圓捌みを唱へ一時の高値に比し半値にも及はず又角鐵並時物は十五圓見當平鐵並時物は二十圓見當を支へ居るか薄板物は人氣更に惡しく二十一圓を唱ふるも實際相場は十八圓も困難なるか如く針金類も一齊下落し釘類も次第弱りの姿にあり。

